

## 学生研究報告大会に関する内規

### JAFTAB Student Research Competition

#### 〔研究発表会の主催〕

1. 学生研究発表会の運営は、毎年運営組織として「学生研究報告会運営委員会」を組織する。

#### 〔研究発表者の資格〕

2. 研究発表者は本会準会員（博士前期課程院生、学部生）とする。ただし、以下の場合は本会会員外の研究発表を認める。

- ①本会と協力協定を締結している国外団体から推薦を受けた学生
- ②国際交流を提携している団体から推薦を受けた学生
- ③協賛・後援団体との相互性（研究発表に関し本会会員が協賛・後援団体において同等の扱いを受ける）が確認できる場合の当該団体より推薦を受けた学生

#### 〔研究発表の内容〕

3. 学生研究発表会で発表される内容は原則として未発表のものとする。

また、報告カテゴリーは、①統一論題の部、②自由論題の部、③ポスターセッションの部の3部門とし、各報告についての報告者の人数はこれを問わない。また③について発表者の立ち合いの有無は問わない。

#### 〔研究発表の採否〕

4. 研究発表の採否は担当委員会が決定する。

#### 〔研究発表内容の責任〕

5. 研究発表報告の内容についての責任は報告者が負うものとする。また報告会場における研究発表および討論に付随して生じるいかなる問題についても本学会は責任を有しない。

#### 〔著作権〕

6. 研究発表されたものに付随する著作権は本学会に帰属する。ただし、報告者自身が全文または一部を複製、翻訳、翻案などの形で利用する場合、あるいはネットワーク上で公開する場合、これに対して本会では原則として異議を申立たり妨げる事はしない。また第三者から、複製あるいは転載に関する申請があり、本会が必要と認めた場合は、著者に代わり本会が許諾することがある。

#### 〔研究発表資料の作成と公開〕

7. 研究発表資料は、報告者の裁量によって作成する。但し、報告会の事前、事後を問わず、本学会ホームページ上に掲載する。

#### 〔研究発表資料の訂正〕

8. 報告者による研究発表資料提出後の訂正は、原則として本質にかかわらない単純ミ

スの訂正以外は認めない。

〔研究発表の取り止め〕

9. 研究発表の取り止めを希望する場合は、その理由を付して書面等で企画者に申し出る。なお、取り止めの申し出がプログラム作成中あるいは公開後である場合、委員会では当該研究発表はプログラムから削除せず、取り止めがあったことを付記する。

〔運営委員会〕

10. 運営委員会は本学会理事会内に設置し、委員長は幹事を含めた役員が充たる事とし、委員は会員内からこれを委嘱する。

〔審査〕

11. 審査は付記に定められた基準により行い、審査員は委員会から学会内外にこれを委嘱する。

〔顕彰〕

12. 研究報告に対し①②部門別に審査を行い、最優秀賞1件（5万円）、優秀賞1件（3万円）、奨励賞を採択し、これを会長名にて顕彰する。③部門は奨励賞のみ選定。

この内規は、2025年11月29日から運用する。

付記

審査基準（基本的に文科省推奨のルーブリック評価を別記の様に使用する）

## 日本貿易学会学生研究報告大会簡易ルーブリック評価(課題発表評価)

この評価基準は、ポスター発表・プレゼンテーションの成果発表の評価を行うためのものです。この評価基準に該当しない評価観点については、D評価としてください。

領域	評価観点	評価尺度			コメント	
		5(S)~4(A)	3(B)	2(C)~1(D)		
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。		
プレゼンテーション発表・ポスター発表	目的と仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が述べられている。	研究目的や仮説が述べられていない。		
	方法	研究目的に沿った研究方法が文献等を参考にしながら述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられている。	研究目的を達成する研究方法として不適切、または、十分とは言えない。		
	分析と結果	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。また、図、表、グラフ等が分かりやすく作成・配置されている。	資料、データ、図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足している、または、図、表、グラフ等が適切に作成されていない。		
	考察	研究結果を踏まえた考察が述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が述べられている。	考察が述べられていないか、考察として不適切である。		
	表示方法と文体	統一された表示と文体で必要な専門的用語が用いられている。また、文章構成は論理的である。	表示と文体の統一感はあり、文章構成もおおむね論理的である。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でない。		
	発表の内容	明快な論理に基づいて構成されており、読み手／聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、読み手／聞き手が理解しやすい表現となっている。	内容構成が分かりにくく、読み手／聞き手は内容を理解できない。		
	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度は適切であり、分かりやすい。	原稿を見ることがあるが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度についてはおおむね適切である。	終始原稿を見ながら発表し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではない。		
	質疑応答	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた適切な応答ができている。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えとが対応していない。		
チェック項目	時間等	<input type="checkbox"/> 指定時間等が守られているか。				
	(ポスター発表) 紙面の活用	<input type="checkbox"/> 紙面を最大限に活用しているか。				
	参考文献	<input type="checkbox"/> 参考文献が正しく表記されているか。				
	提出期限	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っているか。				
	提出物	<input type="checkbox"/> 提出すべきものが全て揃っているか。				